

第61回東アジア国際関係史研究会

協力：慶應義塾大学東アジア研究所現代中国研究センター

文革中の有線放送——人民公社の播音員の話

科学技術が飛躍的な進歩を遂げ、ビッグデータを活用する今、また情報の伝達方法が様々あり、グローバル社会の出来事が距離も時空も問わずに素早く世界各地に知られるようになる今、20世紀後半の中国における数少ない情報伝達のルートとしての有線放送はどのような役割を果たしたのか、同時代を生きた一人の人民公社播音員としてもう一度あの時代のことを振り返り、時代背景、地域事情等を交えてあの時の中国人はいかに考え、何をしたのか、を紹介します。

報告者 孫国鳳氏（東京理科大学教養教育研究院講師（非常勤））

略歴

北京師範大学外国語学部日本語学科卒業後、1979年中国北京市外経処、1985年中国民政部社会福利司（局）義肢科学研究所（現中国民政部国家康復補具研究センター）を経て来日。1998年東京外国語大学大学院修士課程修了。修士（学術）。2002年東京大学総合文化研究科修了。博士（学術）。2022年公益財団法人大学セミナーハウス退職。現在、東京理科大学教養教育研究院講師（非常勤）。

ディスカッサント 小嶋華津子氏（慶應義塾大学教授）

司会 川島真氏（東京大学大学院教授）

日程 2022年4月28日（木）10:00~11:30

言語 日本語

会場 オンライン開催

※参加希望の方は以下のzoomミーティングからお入りください。

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/84821223499?pwd=cVZHRnlzd1B4a0pPUEZpazVBSmRPZz09>

ミーティングID：848 2122 3499 パスコード：640067

問い合わせ先 事務局 asia.kokusai.komaba2022@gmail.com

主催：科学研究費基盤研究(B)「中国の世界秩序観の歴史的変遷と現在」（代表：川島真）